

# 島根益田信用組合の経営内容について

～令和6年度 上期の業績と仮決算～

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員のみなさまの社会的・経済的地位の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めています。

<コーポレートスローガン>

愛される信用組合を目指します

～ おつきあい まごころで～

<組 訓>

「奉仕」「繁栄」「啓発」

## ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対して、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

私たち、“ますしん”は協同組合金融機関として、組合員のみなさまの社会的、経済的地位の向上に役立つことを目標に、地域との絆を大切に顧客づくり、店舗づくり、人づくりにて地域に密着し、地域の発展に寄与していきたいと考えております。『仕事の心得』は、その実践の為の行動基準として掲げ、信用組合の原点である相互扶助を日々実践することで愛され・必要とされる信用組合の実現を目指します。

### 『仕事の心得』

1. 仕事は足と情熱で！
2. サービスは知恵と真心で！
3. 顧客の喜びに感謝を！



しんくみの日 献血ボランティア

平成17年から19年間継続して

実施しています。

人口減少による地域経済の担い手不足、コストの上昇、人件費の増加等により当地域の経済環境も大きく変貌しつつある状況です。私たち“ますしん”は地域の皆様の一番身近な金融機関としてお客様に寄り添い、訪問面談活動を主にお客様の思いをカタチにする金融仲介機能の発揮に努めております。

本年もここに「島根益田信用組合の経営内容について（ミニディスクロージャー誌）」を作成いたしましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

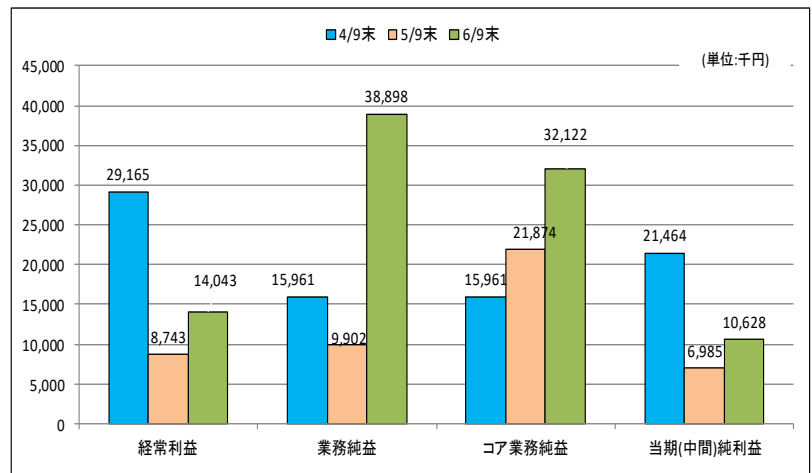
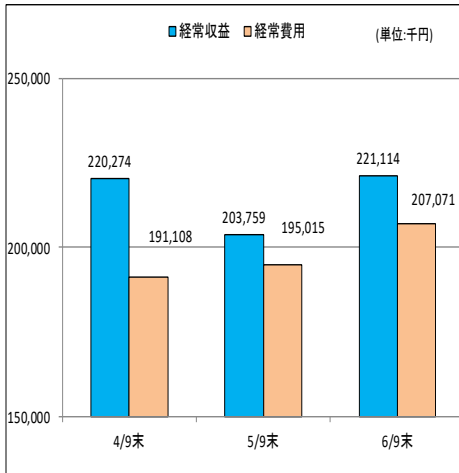
今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 損益の状況

経常収益は、貸出金の増加により利息収入が前年同月比 14 百万円増加したことを主な要因として、前年同月比 17 百万円増加の 221 百万円となりました。経常費用は、経費が前年同月比の 7 百万円増加、偶発損失引当金繰入超過額が前年同月比 4 百万円を主要因として、前年同月比 12 百万円の 207 百万円となりました。

経常利益は、前年同月比 5 百万円増加の 14 百万円になりました。業務純益は業務収益が貸出金利息の増加等により 18 百万円増加及び業務費用が一般貸倒引当金の減少により 10 百万円減少し前年同月比 28 百万円増加、コア業務純益は前年同月比 11 百万円増加の 32 百万円となりました。

以上の結果から、最終的な当期純利益は前年同月比 4 百万円増加の 10 百万円となり令和 6 年 9 月末の仮決算は増収増益となりました。

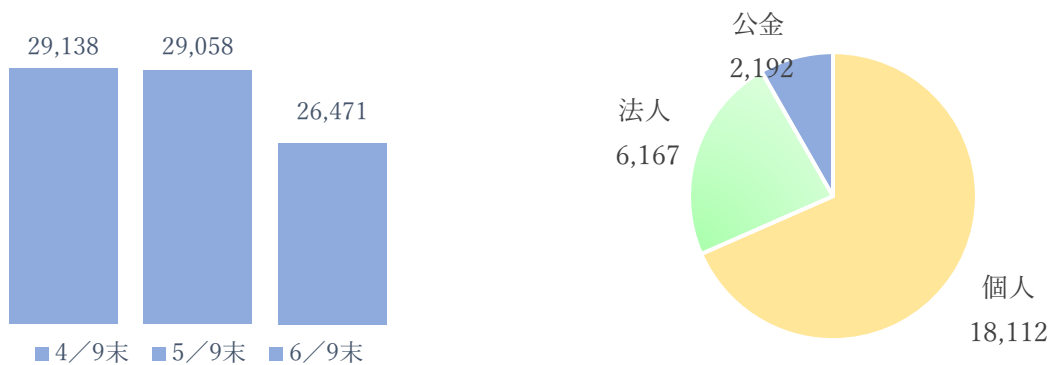


## 2. 預金・貸出金の状況

### (1) 預金

令和 6 年 9 月末の預金残高は、令和 5 年 9 月末 29,058 百万円から 2,587 百万円減少の 26,471 百万円となりました。内訳としては、流動性預金 839 百万円、定期性預金 1,748 百万円減少、この預金の減少主要因は、公金や法人の減少によるものです。

今後も地域のお客様のお役に立ち、喜んで頂くような活動を続け、預金の増加に取り組んで参ります。



### (2) 貸出金

令和 6 年 9 月末の貸出金残高は、令和 5 年 9 月末 17,218 百万円から 973 百万円増加の 18,191 百万円となりました。内訳としては、法人貸出は大口設備の資金需要増加の影響もあり、524 百万円増加。個人貸出はフリー系 5 百万円、カードローン 3 百万円減少したものの住宅ローン 64 百万円、マイカーローン 22 百万円増加により、74 百万円増加となりました。

これからも、地域社会に信頼され、地域の皆様に貢献するために貸出金の増強に努めて参ります。



貸出金業種別残高・構成比 (単位：百万円)

	残高	構成比		残高	構成比
製造業	970	5.3%	物品賃貸業		
農業、林業	711	3.9%	学術研究、専門・技術サービス業		
漁業	1	0.0%	宿泊業	369	2.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	154	0.9%	飲食業	627	3.4%
建設業	2,265	12.5%	生活関連サービス業、娯楽業	62	0.3%
電気、ガス、熱供給、水道業	125	0.7%	教育、学習支援業	409	2.3%
情報通信業	46	0.3%	医療、福祉	23	0.1%
運輸業、郵便業	647	3.6%	その他サービス	2,109	11.6%
卸売業、小売業	1,709	9.4%	その他の産業	760	4.2%
金融業、保険業	200	1.1%	地方公共団体	241	1.3%
不動産業	1,949	10.7%	個人(住宅、消費、納税資金等)	4,805	26.4%
			合計	18,191	100.0%

3. 財産の状況

資産・負債及び組合員勘定

(単位：千円)

資産の部	5年9月末	6年9月末	負債の部	5年9月末	6年9月末
現金	190,405	221,833	預金	29,058,306	26,471,965
預け金	9,151,794	6,005,289	当座預金	340,636	335,548
有価証券	4,135,727	3,988,188	普通預金	11,083,845	10,126,509
国債	264,614	259,220	貯蓄預金	13,323	17,742
地方債	86,520	85,320	通知預金	6,149	—
短期社債	—	—	定期預金	16,070,606	14,297,599
社債	2,719,679	2,545,879	定期積金	1,450,921	1,476,398
株式	92,752	90,152	その他の預金	92,823	218,166
その他の証券	972,166	1,007,617	借入金	200,000	400,000
貸出金	17,218,410	18,191,116	その他負債	52,897	52,838
割引手形	32,003	53,346	賞与引当金	6,829	6,899
手形貸付	354,380	229,345	退職給与引当金	73,597	75,418
証書貸付	15,371,007	16,312,322	役員退職慰労引当金	15,548	17,397
当座貸越	1,461,020	1,596,102	その他の引当金	7,553	14,246
その他資産	284,832	266,353	債務保証	25	8
固定資産	135,061	138,011	負債の部合計	29,414,756	27,038,770
繰延税金資産	165,865	158,803	純資産の部		
債務保証見返	25	8	出資金	226,819	226,894
貸倒引当金	△162,679	△174,569	利益剰余金	1,753,714	1,762,561
(うち一般貸倒引当金)	(△128,243)	(△74,726)	評価・換算差額等	△275,846	△233,191
(うち個別貸倒引当金)	(△34,436)	(△99,843)	純資産の部合計	1,704,686	1,756,264
資産の部合計	31,119,443	28,795,035	負債及び純資産の部合計	31,119,443	28,795,035

損益

科目	5年9月末	6年9月末
経常収益	203,759	221,114
業務収益	202,161	220,604
資金運用収益	193,598	208,862
(うち貸出金利息)	(165,303)	(179,534)
役員取引等収益	7,934	8,111
その他業務収益	628	3,631
臨時収益	1,598	509
経常費用	195,015	207,071
業務費用	192,258	181,706
資金調達費用	4,336	5,612
(うち預金利息)	(4,305)	(5,377)
役員取引等費用	18,100	18,024
その他業務費用	0	41
一般貸倒引当金繰入額	11,972	△6,817
経費	157,848	164,845
臨時費用	2,757	25,364
経常利益	8,743	14,043
(業務純益)	9,902	38,898
(コア業務純益)	21,874	32,122
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	21,874	32,122
特別利益	—	—
特別損失	0	0
税引前当期純利益	8,743	14,043
法人税・住民税及び事業税	3,605	9,529
法人税等調整額	△1,846	△6,114
当期(中間)純利益	6,985	10,628

令和6年9月末

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	簿価	差額
債券	3,729	3,995	△265
国債	259	300	△41
地方債	85	100	△14
社債	2,545	2,695	△149
外国証券	839	900	△60
株式	90	111	△21
投資信託	168	203	△35
合計	3,988	4,310	△322



第73期通常総代会(令和6年6月20日)

コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催いたしました。

益田市立保健センターにて

## 4. 自己資本の状況

自己資本比率は、6年3月末の11.53%から0.03%上昇の6年9月末11.56%となりました。

国内で業務を行う金融機関の基準である4%及び大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%と比較しても高い水準を維持しており、健全な経営を行っております。

	6/3末	6/9末
自己資本比率 (A)/(B)×100	11.53%	11.56%
自己資本の額 (A)	2,056	2,060
コア資本に係る基礎項目の額	2,060	2,064
出資金及び資本剰余金の額	226	226
利益剰余金の額	1,756	1,762
外部流出予定額(Δ)	4	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	81	74
コア資本に係る調整項目の額(Δ)	3	3
リスク・アセット等の合計額 (B)	17,833	17,818

## 5. 不良債権の状況

金融再生法で定められた開示債権額(不良債権額)は、5年9月末の436百万円から26百万円減少し、6年9月末410百万円となりました。

総債権額に占める開示債権額の割合(不良債権比率)については、不良債権額の減少や総与信額の増加によって、5年9月末2.53%から0.28%低下し、6年9月末2.25%となりました。

なお、6年9月末の開示債権額410百万円は担保、保証等、引当金による保全額362百万円によって、その債権額の88.26%はカバーされております。

	5/9末	6/9末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	109	105	△ 4
危険債権	182	239	57
要管理債権	145	66	△ 79
三月以上延滞債権	—	—	—
貸出条件緩和債権	145	66	△ 79
開示債権 計 A	436	410	△ 26
正常債権	16,781	17,780	999
合計	17,218	18,191	973
担保・保証等 B	306	253	△ 53
貸倒引当金 C	89	109	20
保全額合計 D=B+C	395	362	△ 33
担保、保証等、引当金による保全率D/A	90.61%	88.26%	△2.35%
総債権額 E	17,218	18,191	973
不良債権比率 A/E	2.53%	2.25%	△0.28%

### 島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号 TEL0856-22-3030 FAX0856-23-6250  
E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp https://shimanemasushin.com/